

# 認めあい支えあい

# 未来につながる学びの和

「本人」「家庭」「地域」「学校(園)」「教育委員会」による  
学びの和を形成し、活力と魅力あるまちづくりを実現！

阿南市教育委員会では、本市教育の未来を見通す教育計画として、第3期阿南市教育振興基本計画を策定しました。令和2年度から6年度まで5年間にわたる具体的な教育施策を掲げつつ、中長期的な展望に立って本市教育の未来を見据えた教育プランとなっています。

本計画の実現に向けて、世界トップ企業を持つ産業、希少生物を育む豊かな自然、国指定史跡等の歴史的遺産といった阿南の強みを生かしながら、学校・家庭・地域が一体となった教育の展開を図ってまいります。

教育振興基本計画は、地域の実情に応じ、市における教育振興のための施策に関する基本的な計画を定めるものです。

阿南市教育委員会では、郷土に誇りを持つ市民を育むことをめざして、平成22年に「阿南市教育振興基本計画」(前期・第1期、後期・第2期)を策定し、教育の推進に取り組んできました。

この計画の期間が令和元年度末日をもって終了することから、「第3期阿南市教育振興基本計画」の策定に取り組みました。計画は、阿南市教育振興基本計画等策定委員会におけるご審

議に加え、計画策定に係るアンケートの調査結果や市民の皆さまから寄せられたパブリックコメント等を踏まえた上で策定しました。

本計画の教育理念を「認めあい支えあい未来につながる学びの和」と定めました。これは、全ての人々が一人ひとりの違いや多様性を認め合い、互いに支え合いながら、未来社会に向けて、「本人」「家庭」「地域」「学校(園)」「教育委員会」による学びの和(「教育コミュニティ」)を形成していくことの重要性をうたったものです。そうした人々の和やつながりを広げ深めていくことを通して、地域社会全体が夢や希望、誇りを持ち、共に学び続け、子どもから大人まで切れ目のない成長をめざすことで、活力と魅力あるまちづくりを実現していこうとする願いを込めています。

本計画では、次の5つの教育方針に基づいて施策を進めていきます。

- 1 生涯学習
- 2 学校教育
- 3 人権教育
- 4 スポーツ振興
- 5 教育環境基盤整備



心身の健康を育む教育(体育祭での大なわ跳び)



# 基本構想・教育施策の抜粋

学びの和を通して生涯活躍  
できる力を地域と共に育む

## 生涯学習

人が生涯を通して学び続け、社会で活躍できる力を育むには、それぞれの地域コミュニティにおいて、家庭、学校、地域、関係機関等のつながりを軸とした世代間交流を広げていくことが大切です。

人と人がつながりを深め、活動を通して互いに学び合い、交流



公民館での門松作り

し合うことにより、地域で子どもの健やかな成長を支えることが可能となるとともに、生涯学習の活性化や伝統文化の継承等を図ることができます。そうした成果を生かしながら、地域から学びの和が広がる生涯学習を推進していきます。

### 生涯学習活動の推進



知識基盤社会の進展を見据え、あらゆる世代が生涯を通じて能力を高め、生きがいを見出し、主体的な学習意欲を持つことができるよう、時流に適応する環境整備とリーダーの育成を中心とした生涯学習活動の活性化に取り組みます。また、これまで以上に市民ニーズの反映に努めつつ、人的ネットワーク・施設間ネットワーク・関係機関ネットワークをより活用し、市民の主体的な学習活動を支援する体制の強化に取り組みます。

生きる力を育み、一人ひとりが輝く学校教育の推進

## 学校教育

学校教育において、生きる力（確かな学力）「豊かな心」「健やかな身体」をバランスよく育みます。併せて、本市の持つ地域の宝を生かした教育の取組や地域の産業、高等教育機関との連携強化による生きたキャリア教育等から郷土への理解と誇りを醸成し、一人ひと

### 自ら学ぶ力を育てる教育の推進



りが持てる力を発揮しながら最大限に輝いていける学校教育を推進していきます。

市民の学校に対する強い期待に応えるため、児童生徒の学習意欲をより一層高める指導に努めつつ、家庭・地域と連携した計画的な学習体系により、基礎的・



級友と意見を交わし合う

基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成に取り組みます。自然・産業・歴史等の阿南の強みを積極的に活用し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けた資質能力の向上や、勤労観・職業観の育成に取り組みます。

総合的な学習の時間を核として、実社会の中で活躍するための資質・能力を育成するために、本市の特徴ある産業を調べるなど地域産業への理解を深める取組を推進します。併せて、早期に職業観を醸成させ、自分の役割を考える自分づくり教育を高等教育機関、地域企業、関係機関等と連携・協働して推進します。

### 持続可能な地域社会の実現に向けた教育の推進



阿南工業高等専門学校との連携事業  
(大瀧干潟でのシオマネキ観察)

これ以外にも、思いやりと豊かな心を育む教育、心身の健康を育む教育、一人ひとりを大切にする特別支援教育、就学前教育、青少年健全育成活動を推進します。

## 阿南市内の児童・生徒の保護者に聞きました

計画策定の資料として、アンケート調査を実施しました。その結果を基に、本市の教育振興に関わる現状や課題をまとめることのとおりです。

### 子どもの状況

小学生から中学生になると夢や目標を持つ割合が低くなっています。同様に生活習慣でも中学生になると意識が低くなっています。

### 家庭教育の状況

家庭教育と学校教育は相互に協力しようとする意識が高いです。家での勉強時間は、小学生・中学生ともに「1時間以上2時間未満」という回答が多いです。読書の時間は、小学生・中学生ともに「1時間未満」か「0時間（全く読書していない）」という回答が多いです。

### 学校再編・統合

「再編・統合をする必要はない（現状のままでもよい）」児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである」「阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである」と意見が分かれています。

### 学校教育に求めること

「学力の向上」「いじめや不登校への対応」「防災・防犯などの安全対策」「体力の向上」などを求める声が多いです。

計画策定の資料として、「阿南市教育振興基本計画策定に係るアンケート調査」は、調査時期：令和元年7月1日～17日、調査対象者：阿南市立小学校5年・中学校2年に在籍する児童・生徒の保護者、配布数：1194件。「阿南市小・中学校の再編・統合に係るアンケート調査」は、調査時期：同右、調査対象者：阿南市立小学校・中学校に在籍する児童・生徒の全保護者、配布数：5527件を実施しました。

# 人権教育

互いの人権を尊重し、心豊かに安心して暮らせるまちづくり

本市における人権教育は、「阿南市人権施策基本方針」の下、同問題を重要な柱としながら、あらゆる人権問題の解決に向けて取り組んできました。

## 人権教育の推進



「阿南市人権施策基本方針」および「阿南市男女共同参画基本計画」の趣旨を踏まえ、人権尊重の精神や男女共同参画意識の全体的な浸透を図ります。

人を輩出した本市ならではの人権啓発および人権教育の推進を図ります。

## 学校人権教育の推進



学校における教育活動を人権尊重の精神で満たされたものとし、あらゆる学習活動を通じて子どもたちの人権感覚を養うとともに、教職員も子どもと共に学ぶ姿勢を貫きます。また、学校・家庭・地域の連携および校種間の連携を重視しながら、いかなる差別や人権侵害も許さない態度を養うとともに、人権を大切にすることを意識・意欲・態度の育成をめざします。



児童・生徒が人権啓発標語・ポスター、人権作文を制作



日本体育大学との連携による小学校プレミアム授業（エアロビック）

## 個性豊かで活力に満ちた生涯スポーツの振興

## スポーツ振興

スポーツには、集団の中で各人が個性を発揮し、自己実現を可能にする要素と、見る人に感動や楽しみ、活力を与える二つの要素があります。

今後は、市民の健康づくりや交流を目的として、市民の誰もが体力・年齢・技術・興味・目的に応じて「いつでも、だれでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現をめざします。

## スポーツに関する幅広い普及活動の推進



市民にスポーツに関する幅広い情報提供を行い、スポーツの普及に努めることにより、市民の健康増進を図ります。

## 生涯スポーツ環境の充実



「阿南市スポーツ振興計画」を策定し、計画的なスポーツ環境・施設の整備促進と指導者の育成・充実を図ります。

B & G 海洋センターやYMCA 阿南国際海洋センターの施設を活用し、本市ならではの海洋スポーツを体験、学習することで、達成感や成功体験を得ることによる自己肯定感を育むとともに、地域の自然に愛着を持てる豊かな心を醸成します。



うみてらす北の脇での海洋スポーツ体験

## 安全・安心な教育環境の確保と基盤整備の推進

## 教育環境の充実



現状では、老朽化する公共施設等に係る建て替えや改修等の更新費用の増加が見込まれる一方、人口減少による収収の減少等、さまざまな課題に対応していくことが求められています。そのため、教育委員会が所管する公共施設等について、長期的な視野に立って更新、統廃合、長寿命化等を計画的に実施しながら、教育環境の基盤整備を進めます。

学校施設および社会教育施設の有効利用を図るために、長寿命化に向けた計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組みます。

## 均等な教育機会の提供



経済的理由等により、教育を受けることが困難な子どもの教育の



大野公民館（令和元年竣工）

機会均等をめざします。

本計画やアンケートの調査結果は、市ホームページで公表しています。



## 問い合わせ

教育総務課

☎ 22-3299

## 学びの

## 和を築く

稲村 健一

阿南市教育委員会教育長



古来、教育は「国家百年の大計」であるといわれてきました。国にあっては地方にあっては、また昔も今も、教育が担う使命の大きさには変わりはないでしょう。社会変化の激しい現代において、少子高齢化やグローバル化の進展をはじめ、ICT化の推進に伴う急速なSNSの普及など、私たちが取り巻く環境の変化は計り知れないものがあります。そうした変化の渦中にあっても、「不易」と「流

行」を確かに見極め、進むべき教育の方向性を過たず見定めていくことが肝要であると考えます。本計画では、「本人」「家庭」「地域」「学校（園）」「教育委員会」による学びの和（＝教育コミュニティ）を築いていくことの重要性をうたっています。策定した以上は、画竜点睛を欠くことのないよう、教育委員会総体として計画の具現化に努めてまいります。

## 広報あなん動画版ご案内

本計画を映像で分かりやすく解説する広報番組を制作しました。8月からケーブルテレビ11ch（ケーブルテレビあなん、県南てれび）やYouTubeで放映しますので、ぜひご覧ください。

問い合わせ  
秘書広報課 ☎ 22-1110



SDGs（エスディーズ）は、国連が定めた「17の持続可能な開発目標」のことです。自治体が策定する各種計画においては、SDGsの要素を反映し、目標を達成することが求められています。